



2008年3月11日

丸文株式会社

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社

丸文とフリースケール、宇都宮で自動車開発の技術支援を開始

顧客に密着したサポートにより、 最先端の半導体を用いた自動車アプリケーションの開発を促進

先端エレクトロニクス商社の丸文株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:佐藤 敬司、以下丸文)とフリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社(本社:東京都目黒区下目黒 1-8-1、代表取締役社長:高橋 恒雄、以下フリースケール)は、宇都宮地域の顧客に密着したサポートを提供し自動車向けビジネスの拡大を図るために、栃木県宇都宮市において自動車アプリケーションの開発支援を開始したことを発表しました。支援拠点となるのは丸文の「宇都宮カーエレクトロニクスオフィス(以下、宇都宮 CE オフィス)」です。

丸文の宇都宮 CE オフィスには、マイクロコントローラのハードウェア、ソフトウェアおよび開発ツールを担当するエンジニアが常駐し、主にフリースケールの 32 ビット・マイクロコントローラを使用したパワートレイン(エンジン・トランスミッション制御)、エアバッグ・システムおよびインフォテインメントなどのアプリケーションにおけるソフトウェア開発支援、ハードウェア開発支援、および開発に関するコンサルティング・サービスを提供します。最先端の半導体を使用した自動車アプリケーション開発には、複雑な使用環境に合ったデバイスの使用方法のトレーニングや、ソフトウェア開発環境の整備が必要であり、開発の早期段階からこれらの技術支援を提供することで、最適なハードウェア、ソフトウェア構成で、かつ短期間で新規デザインを立ち上げるなど、さまざまなメリットを提供することができます。

フリースケールはこの支援体制を万全のものにするために、日本各地の技術拠点との連携により宇都宮 CE オフィスでの活動を支えます。仙台デザイン開発センターにおいては、製品開発および不良解析、東京本社の技術部門においては、開発支援、そして名古屋品質テスト・センターにおいては、初期解析を行う予定です。丸文は、フリースケールからこれら万全の技術的支援を受けることで、宇都宮 CE オフィスを拠点にして、宇都宮地域における顧客に密着したサポートを提供します。

丸文の専務取締役営業統轄担当の佐藤 誠は次のように述べています。「フリースケール様は、自動車向け半導体で世界をリードする企業であり、自動車向け 32 ビット・マイクロコントローラでも圧倒的なシェアをもっています。同社とともに、宇都宮 CE オフィスにおいて開発支援を始めることは、丸文にとって、自動車向け事業を大きく成長させる重要な機会です。自動車向けビジネスは、丸文の中期経営計画である「Value UP Plan」の核となる事業の一つと位置づけられており、これを機に、関東圏における自動車ビジネスを今以上に大きく育てていきたいと考えています。」

フリースケールの上席副社長 兼 フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン代表取締役社長の高橋 恒雄は次のように述べています。「この宇都宮の地で、丸文様とともに自動車向けビジネスの拡大に向けて支援体制を強化することができたことを喜ばしく思います。フリースケールの世界クラスの

製品と、丸文様の強固な国内支援体制が組み合わさることで、今後の日本国内における自動車向けビジネスの更なる発展が期待できると考えています。」

「これからの自動車には、ますます新しいエレクトロニクス技術が求められます。一方で、新技術の導入には自動車メーカーとともに多くの課題に取り組まなければなりません。」と株式会社ケーヒン 常務取締役 電子統括本部長 入野博史様は述べています。「私共自動車部品メーカーが、これらの課題を解決し迅速かつ的確に新技術を導入するには、半導体メーカーの技術部門との緊密なコミュニケーションとスピーディな支援体制が欠かせません。ここ宇都宮にこのような支援体制を整えていただくことで、ECU(エンジン・コントロール・ユニット)を中心とした電子製品へ新技術や新製品を採用するにあたり、開発スピードの短縮や開発品質の向上が図られるとともに、新技術の導入が容易になることが考えられ、大きな期待を持っています。これからも共にカーエレクトロニクスの発展に貢献できれば幸いです。」

宇都宮 CE オフィスについて

丸文が車載ビジネスの拡大を目的に、2007年10月に宇都宮事務所として開設しました。そして、このたびリースケールからの万全の技術支援を受けることで、新たに「宇都宮カーエレクトロニクスオフィス」と命名し、この拠点をベースに宇都宮地域の自動車メーカーや自動車部品メーカーに密着した技術サポートを提供します。

リースケールの車載半導体について

リースケールは車載向け半導体の設計・製造において30年以上の実績を有し、車載半導体の市場シェアで世界No.1の業績を誇ります。自動車のパワートレイン、アドバンスド・セーフティ、エンジン・コントロール、ボディ・エレクトロニクス、シャーシ、インフォテインメント等、さまざまなアプリケーション向けに、マイクロコントローラ、センサー、アナログ製品を提供しています。2005年には業界初の車載向けFlexRay対応デバイスを発売、2008年には車載向けPower Architecture® ベース32ビット・マイクロコントローラの世界累計出荷数が1億個を突破しています。

丸文株式会社について

本 社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設 立：1947年7月

代表者：代表取締役社長 佐藤 敬司

従業員：1,181名(2007年3月末連結)

資本金：62億1,450万円

売上高：2,756億円(2007年3月期連結)

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売する商社。世界規模のネットワークを持つ大手半導体ディストリビュータである 米国Arrow Electronics,Inc.と事業提携し、Marubun/Arrow,ASIA、Marubun/Arrow,USAを設立。海外へ生産移管するお客様に対し、グローバルレベルでのサービスサポートを実現している。

東京証券取引所市場第1部に上場。(コード番号:7537)

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp/>をご覧ください。

リースケール・セミコンダクタについて

リースケール・セミコンダクタ・インクは、自動車用、民生用、産業用、ネットワーキングおよびワイヤレス・マーケット向け組込み用半導体のデザインと製造の世界的リーダーです。リースケールは、テキサス州オースチンを本拠地に、世界30カ国以上で、半導体のデザイン、研究開発、製造ならびに営業活動を行っています。リースケールは世界的な大手半導体メーカーです。2007年度の売上高は57億ドル

(USD)でした。詳細は、<http://www.freescale.com> (英語)、または<http://www.freescale.co.jp/> (日本語)をご覧ください。

報道関係者からのお問い合わせ先:

丸文株式会社
広報室
杉村 伸夫
Tel: 03-3639-9803
Email: koho@marubun.co.jp

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーション本部
谷川 雅子
Tel: 03-5437-9128
Email: rty559@freescale.com

Freescale ならびに Freescale のロゴマークは、フリースケール社の商標です。文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標です。

©2008 フリースケール・セミコンダクタ・インク